

金原 華恵子 さんご家族

(父) 蔵田 清登
(母) 蔵田 千代子
(長女) 蔵田 華恵子
(次女) 蔵田 津夜子



華恵子さんの出生地 中華民国河北省宛平縣長辛店扶輪胡同二号 (北京市豊台区)

父(蔵田清登)と母(山延千代子)の婚姻にともない、父は山延家の婿養子となるが、苗字は蔵田姓のまま満蒙開拓団として、当時の中華民国の華北部(河北省)へわたる。華北交通(鉄道会社)に勤務をしていた父の出征にともない、昭和十九年、病を抱えた母は二人の娘とともに実家の西志和村(現在の東広島市志和町)へ帰国。

経過

一九三一(昭和 六)年 九月十八日 満州事変による関東軍の満州占領
一九三二(昭和 七)年 三月 満州国建国。満蒙開拓団の入植開始
一九三七(昭和十二)年 七月 七日 盧溝橋事件により日中戦争へ
一九三九(昭和十四)年 四月十七日 華北交通株式会社設立
一九四〇(昭和十五)年 十一月十七日 華恵子さん誕生
一九四一(昭和十六)年 十二月十五日 在留届
一九四一(昭和十六)年 十二月二十日 在留届出に関する履歴表交付
一九四四(昭和十九)年 二月十一日 父入隊
一九四四(昭和十九)年 五月 六日 父戦死
一九四四(昭和十九)年 七月 母・妹らとともに引き揚げ
一九四四(昭和十九)年 九月十九日 東部第6部隊長の大庭四郎から戦死報告
一九四四(昭和十九)年 十月十二日 西志和村村長から写し受領
一九四四(昭和十九)年 十月 妹逝去
一九四五(昭和二十)年 八月十五日 終戦の詔
一九四六(昭和二一)年 母逝去
一九五五(昭和三十)年 四月 西条農業高校志和分校入学
一九五九(昭和三四)年 三月 西条農業高校志和分校卒業
一九六二(昭和三七)年 金原氏と結婚

中国の鉄道会社に勤めていた清登さんは、中国で召集され、その後、戦死するまでの約三か月間で十一通もの便りをご家族のためにしたためられました。家族の安否を気遣う文面の一方で、軍の検閲でしようか、伏字や黒塗りされた部分も見られます。南方の戦地へ向かう父らに乗せた輸送船はフィリピン南部で撃沈された。その後、家族に届いたのは一通の死亡通知書のみ、遺骨はありませんでした。

入隊した父からの手紙

① 蔵田千代子 宛

様子を知らせて来ないが一同元気かね。小包はどうだ無事に到着したかね。永い間だ包んで居たから靴や服が変形して居るかも知れないから十分手入を頼む。特に帽子の手入も。梶谷に会ひたいと思ったが通っただけで会へなかつた。元気で居ると伝えて呉れ内地から何か言つて来たかねどうだ。呉れぐれも子供を大切に近隣の方々へ宜しく。当地は大変暖かで青い麥畑を見れば病氣などなれそうもない。

様子を知らせて来ないが一同元気かね (一)
小包はどうか無事に到着したかね 永い間だ包んで居たから靴や服が変形して居るかも知れないから十分手入を頼む特に帽子の手入も
梶谷に會ひたいと思つたが通っただけで會へなかつた元気で居ると傳へて呉れ内地から何か言つて来たかねどうだ 呉れぐれも子供を大切に近隣の方々に宜しく
暖か下青い麥畑を見れば病氣などなれそうもない

② 蔵田千代子 宛

元氣にて軍務に精勤して居る。皆んな無事かね。入隊した日、水落氏に会ったから奥さんに様子を知らせてあげてくれ。最近●●に転出するかも知れぬ、子供に気をつけて立派に家を守って呉れ。別に手紙を出さないが、近所の方々によろしく、満州と南京の妹（榎本）の住所を知らせて呉れ。書いて来たが紛失したから。

元氣にて軍務に精勤して居る。皆んな無事かね。入隊した日、水落氏に会ったから奥さんに様子を知らせてあげて呉れ。最近●●に転出するかも知れぬ、子供に気をつけて立派に家を守って呉れ。別に手紙を出さないが、近所の方々によろしく、満州と南京の妹の住所を知らせて呉れ。書いて来たが紛失したから。

③ 蔵田千代子 宛

先日出した手紙に書くのを忘れたが内地の母に小生の入隊前の写真を一枚送ってあげて呉れ。当方からも時々便をする筈だが、多忙でもあり転出すればすぐに手紙も出せまいと思ふから、お前の方から心配しないように書いて様子を知らせて呉れ。留守中何かと不便もある事だろうが内地に帰るような気持ちを起こさないで心棒して呉れ。子供のことは特に気を付けて病気にでもなつた時は早く養生するよう頼む。

先日出した手紙に書くのを忘れたが内地の母に小生の入隊前の写真を一枚送ってあげて呉れ。当方からも時々便をする筈だが、多忙でもあり転出すればすぐに手紙も出せまいと思ふから、お前の方から心配しないように書いて様子を知らせて呉れ。留守中何かと不便もある事だろうが内地に帰るような気持ちを起こさないで心棒して呉れ。子供のことは特に気を付けて病気にでもなつた時は早く養生するよう頼む。

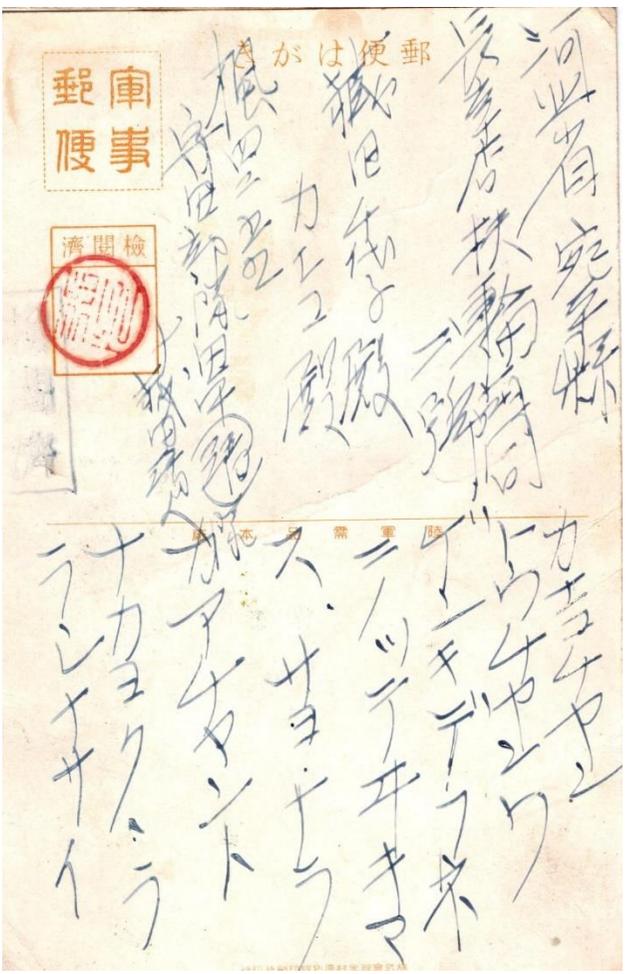
⑥ 蔵田千代子 宛

御手紙ありがとうございます（二通）詳細様子聞いて安心した。子供も元気で何よりだ。此度等々と同じように入隊された方で、三月一日家族を内地へ引揚げて十日に長男を亡くされた木村の事もあるし、萬一内地に帰るようになった場合、特に子供に気を付ける事だ。内地から心配して居るような様子はなにかね。当方からも四、五回出して居るが返事がない。豊ちゃんの所へも…（以下切断）

⑦ 蔵田千代子 宛

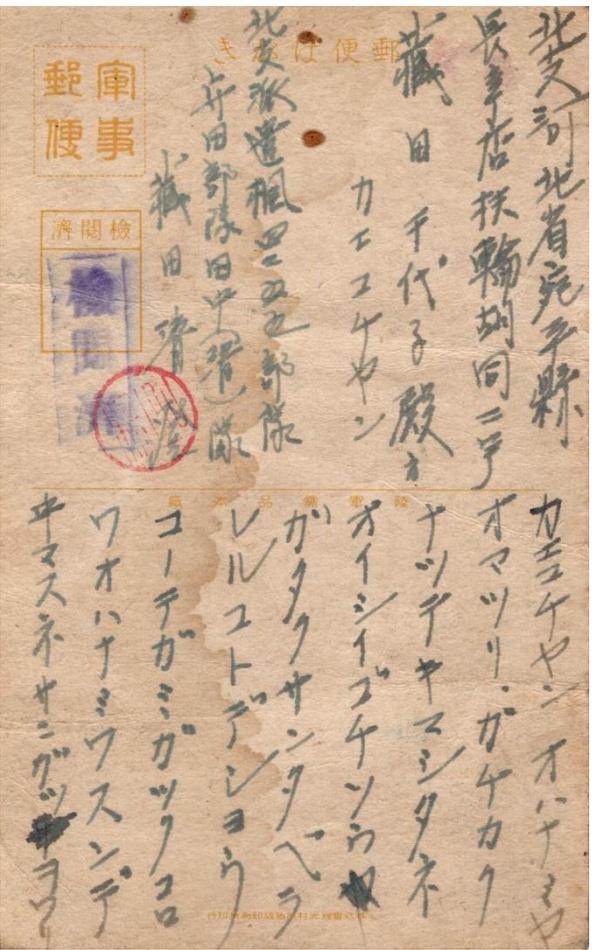
前略

様子も来ないが、子供等も元気で居るかね。俺も相変わらずだが萬一の場合を心配しないよう●記を注意する事。但し通知のある迄は長辛店に居れ。会社の手続きは加藤、中本、中込、鈴木、木村、諸氏に頼んで書類上の手落のないようにする事。内地からは必ず一名来て戴くよう前から頼んでおく事。荷物を沢山造らぬよう売去する事。（今日は内地を出発した記念日だ）



⑩ 蔵田千代子方・華恵子 宛
カエコチャン トウチャンワ
アチャントナカヨククラシナサイ

ゲンキデフネニノツテイキマス
サヨウナラ カ



⑪ 蔵田千代子方・華恵子 宛
カエコチャン オハナミヤオマツリガチカクナツテキマシタネ
ウガタクサンタベラレルコトデシヨウ コノテガミガツクコロワオハナミワスンデ
キマスネ サンガツヲワリ

カエコチャン オハナミヤ
オマツリガチカクナツテ
キマシタネ オイシイゴチソ
ナツデヤマシタネ
オイシイゴチソ
ガタクサンタベラ
レルコトデシヨウ
コノテガミガツク
コロワオハナミワ
スンデキマスネ
サンガツヲワリ

フて居るか何分軍の事ではフタリ言つた、然し南方へ行く事だけはフタリして居る。生きて歸れるかどうかわからないが、其情は大切な家の事も別に心配する事もないし戦死する。近頃は長辛店に居て吳北第二の俺り御里、たか、色に苦勞もある事だ、うか心棒して吳北もう内地に知らせて居るかわかりな、か様子を知りてやつて吳北南京の様子書こうと思つて居るが住所書きか紛失しぬので手紙を出す事か出来ぬ。

百十番 藤縣站から三蔵倉庫係へ電報を祭したから聞いた事と思ふ。子供を病氣にかゝるまいように氣をつけて五塚に養育する事だ。近所の方へも

手紙も出して居る、かよろしく言つて吳北南方へ行く事だ、又手紙を出す。

二月廿六日 此支 楓 第四二五九 田中隊

清登

千代子殿

廣島縣賀茂郡西志和村役場

死亡報告

本籍地廣島縣賀茂郡西志和村本宮冠一五五番地

戶主 清第

藏田 清登

右者昭和十九年五月六日午後二時二分北緯二度

四二分東經一三四度七分十六北方向約八〇度階近二

於今戰死

右報告修也

昭和十九年九月十九日

東部第六部隊長大庭四郎

西志和村長 敬

右原本二條り晴寫相違無之候也

昭和十九年十月十日

廣島縣西志和村長大山務松